

第2 実践事例

事例1 学級活動(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」の事例

- 学年 第5学年
- 主要内容 よさを認め合い、協働して取り組む児童を育てる学級活動の展開
- 事例のポイント
 - ①議題の選定と提案理由の明確化について工夫する。
 - ②合意形成を図るために、イメージの共有化の方法や板書について工夫する。
 - ③視点を明確にするなど、児童の振り返りを工夫する。
 - ④学級活動の学習過程において効果的にICT端末を活用する。

1 議題「〇組の前半がんばったね集会をしよう」

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、明るく元気に学校生活を過ごしている。第5学年となり、高学年ということ意識して活動を行うことも多く、一生懸命に取り組んでいる。また、児童同士も慣れてきて、学級内でも友達と協力して取り組む活動が増えてきている。しかし、自分の意見を強く主張してしまう児童や、活動に消極的な児童もいる。そこで、よりよい学級生活を目指して、「自分もよくて、みんなもよい活動」を考えていこうと指導してきた。

学級会については、年度当初にオリエンテーションを行い、共通理解を図った。計画委員会を組織し、司会等の役割を輪番制で行い、少しずつ役割に対する理解を高めてきている。しかし、学級内の諸問題に気付き、解決へ向け、提案理由に迫る活動を行うことに課題がある。そこで、提案理由の提示の仕方を工夫し、意識して話し合いを進められるよう指導を行っている。

本議題「〇組の前半がんばったね集会をしよう」は、高学年の仲間入りをした第5学年での前半の生活を振り返り、これまでの互いの頑張りやよさを認め合う活動に取り組もうとの児童の思いで選定された。この活動を通して、学級内の友情を更に深めるとともに、自分たちの力でよりよい生活をつくっていこうとする自主的、実践的な態度を育んでいきたい。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

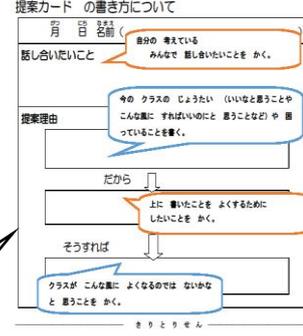
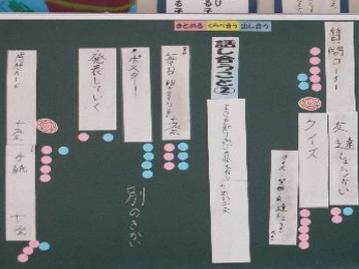
よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4 事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)
10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・議題の選定をする。(計画委員会) ・議題を決定する。(学級全員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・議題選定の視点、提案理由の意義を理解して選定することを指導する。 ・計画委員会の提案のもとに、全員で決定する。 	◎よりよい学級生活にするために、進んで議題を選ぼうとしている。【態】(提案カード・観察) ◎〇組の前半がんばったね集会への見通し

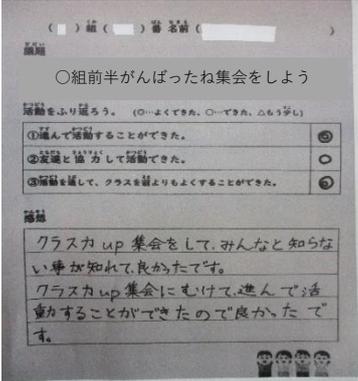
事例のポイント①
全員で話し合う必要があることを納得できるように工夫して掲示する。

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 計画委員会の紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 提案理由の確認</p>  <p>提案理由は…</p> <p>事例のポイント④ ICT 端末を活用し、なぜこの活動を行うのかが分かるように伝える。</p> <p>5 話合いのめあての確認</p> <p>6 決まっていることの確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい雰囲気話し合うことができるよう、笑顔で見守る。 ・ 各自のめあてを発表し、役割に対して責任をもって臨めるようにする。 ・ 提案者の思いや願いを踏まえた提案理由について、学級全員が共通理解し、話合いの指針となるようにする。 <p>事例のポイント② 決まっていることは、具体的に決めておく必要がある。短冊に書いてある意見がクラス全体で同じようにイメージできるようにする。</p> <p>事例のポイント① 提案理由を明確にするために書き方を掲示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程の変更に関わることなどに関しては教師が伝える。 	<p>◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)</p> <p>提案カードの書き方について</p>  <p>提案ありがとう♥カード</p> <p>()くん・さんへ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今回の 学級会の 議題にします。 2. 次の 学級会の 議題にします。 3. 先生から 話してもらいます。 4. 朝の会や 帰りの会を 使って話し合います。 5. ()かかりに おねがいします。 6. その他 <p>ありがとうございました。また、意見を教えてください。</p>
<p>7 話合い 話し合うこと① 「よさを知るために何をするか」</p> <p>話し合うこと② 「よさを知り、思いを伝え合う工夫をどうするか」</p> <p>話し合うこと③ 「どんな係が必要か」</p> <p>事例のポイント④ 「出し合う」の場面でイメージを共有するために ICT 端末を活用することもできる。</p> <p>【その場ですぐに指導助言を行う場面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の児童を傷付けることが予想される場面 ・ 実施の時間や校内のきまり、施設利用に関すること ・ 金銭に関すること ・ 健康や安全を損なうおそれがあること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「出し合う」「比べ合う」「まとめる(決める)」の流れで話合いを進める。「比べ合う」を特に重点的に扱う。 ・ 話合いの方向が逸れたときは、提案理由やめあてを意識して進められるように助言する。 ・ 提案理由を意識した発言や理由が明確な意見、建設的な意見を称賛する。  <p>ぼくは、お互いのよさを知るために、朝の会の日直のスピーチでクイズを作って発表するとよいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会が困っているときは、助言を行い、児童の合意形成を方向付けるような発言をしないよう留意する。 ・ 自治的活動の範囲を超えそうな場合は、適切に助言する。 ・ 安易に多数決をとらないことを伝え、合意形成しながら決めることができるよう配慮する。 	<p>◎これまでの集会活動の経験を生かしたり、友達の良い意見を生かしたりして、○組の前半がんばったね集会の内容や工夫について考えている。</p> <p>◎自分の考えと比べながら友達の発表を聞き、理由を明確にして自分の意見を述べ、協力して話合いを進めようとしている。【思・判・表】 (発言・観察・学級会ノート)</p>  <p>特技発表会に賛成です。なぜなら、みんなのよさを知ることができるからです。</p> <p>編 P201 指導計画作成の留意事項(2)</p>
	<p>事例のポイント② 短冊を操作することで、分類したり統合したりすることができる。</p>	

<p>8 決まったことの発表 9 ふりかえり 10 先生の話 11 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと比べながら友達の意見を聞き、理由を明確にした発言をするなどの意欲的な児童を称賛する。 ・学級会の振り返りのポイントを示すようにする。 ・今回の学級会のよかったことや事後の活動と実践への意欲が高まる言葉がけをするとともに、今後の学級会の課題を明確にする。また、計画委員会の活動を称賛する。 	<p>◎話し合いを振り返り、互いのよさを認め合おうとしている。【思・判・表】(振り返りカード・発言)</p>  <p>最初は特技発表会に反対だったけど、友達の意見を聞いて、提案理由を振り返ることで、賛成意見に変えることができました。</p>
---	--	---

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)
10月29日	<p>・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 【決まったこと】 話し合うこと① ・特技発表 ・質問コーナー 話し合うこと② ・手紙感想カード</p>	<p>・学級会で決まったことの要点をまとめて書くよう計画委員に助言する。</p> <p>学級会で決められなかったこと(役割分担など)があれば、確認し決定する。</p>	<p>◎〇組の前半がんばったね集会のめあてを意識して友達と協力して取り組んでいる。 【思・判・表】 (学級会ノート)</p> <p>特技発表(切り絵)</p>
11月1日 ～	<p>・係ごとに計画を立てて、協力して準備をする。 ・帰りの会などで係ごとに経過報告を行ったり、お知らせを伝えたりする。</p>	<p>・係は複数名で担当し、全員で協力して活動できるようにする。 ・準備の進捗状況を確認し、活動意欲の継続化を図る。</p>	
11月8日	<p>・「〇組の前半がんばったね集会」を行う。</p>  <p>がんばって練習している曲を、みんなの前で弾くことができうれしかったです。</p>	<p>・集会のねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 ・協力したり工夫して活動したりしている児童を称賛する。</p> <p>編 P201 指導計画作成の留意事項(5)</p>	 <p>みんなの前で初めて切り絵をしました。みんながすごいと言ってくれてうれしかったです。</p>
11月9日	<p>・活動を振り返る。</p> 	<p>・活動を振り返るとともに、めあてに基づいた振り返りを行い、自分の役割を果たすことや友達のよかったところについても認められるように助言する。</p> <p>事例のポイント③ 振り返りは、事前・本時・事後の一連の学習過程を通して行うようにする。</p>	<p>◎〇組の前半がんばったね集会の成果と課題を振り返り、自他のがんばりに気付き、次の活動に生かそうとしている。【態】 (学級会ノート・観察)</p>